



姉妹提携校 ドイツ・ヴェルツブルク音楽大学と
北海道教育大学岩見沢校教員による

国際交流コンサート

2016年10月14日(金)
18:00開演(17:30開場)

i-HALL
北海道教育大学岩見沢校
多目的ホール

Photo: ヴェルツブルク マリエンベルク要塞

Program プログラム

- レッスン受講生の演奏
- 教員による交流演奏

深井尚子 (Pf)、長岡聡季 (Vn)、ヴォルフガング・ニュスライン (Vc)

シューベルト ピアノ三重奏曲 “ノットルノ” 変ホ長調 作品148 (遺作)

F.Schubert Trio für Klavier, Violine, Violoncello “Notturmo” Es-dur Op. Post. 148

シューベルト ピアノトリオ第1番 変ロ長調 作品99 第1楽章

F.Schubert Trio für Klavier, Violine, Violoncello Nr.1 B-dur Op.99 1.Satz

- ヴェルツブルク教員による演奏

デニーゼ・ベンダ (Pf)、ヴォルフガング・ニュスライン (Vc)

フランク チェロソナタ イ長調

C.Frank Sonate für Klavier und Violoncello



デニーゼ・ベンダ
Denise Benda



ヴォルフガング・ニュスライン
Wolfgang Nüßlein



深井尚子
Shoko Fukai



長岡聡季
Satoki Nagaoka

主催：北海道教育大学岩見沢校

後援：岩見沢市、岩見沢市教育委員会、北海道新聞社岩見沢総局、プレス空知

ご挨拶

この度、2014年に北海道教育大学と姉妹提携を締結した、ドイツ、バイエルン州のヴェルツブルク音楽大学から、教員同士の共同研究と学生へのレッスンを行なうため、お二人の教員が岩見沢校を訪問するという、素晴らしい交流が実現しました。お二人の先生は、ともにヴェルツブルク音楽大学で室内楽をご担当されており、今回、14組の岩見沢校音楽文化コースの学生のために助言をいただけることになりました。また、私たち岩見沢校の室内楽担当の教員とのコラボレーションによる演奏会を開催できる運びとなり、本学関係者のみではなく、岩見沢市民の方々、小中高の児童、生徒さんにも広く公開します。地域の文化発展に少しでもお役に立てば、うれしく思います。

本日は、レッスンを受講した学生のグループとヴェルツブルク音楽大学のピアニスト、ベンダさん、チェリスト、ニュスラインさんのデュオ、そして、岩見沢校の室内楽担当教員がともにピアノ三重奏曲を演奏します。

どうぞ、ごゆっくりお楽しみください。

北海道教育大学岩見沢校室内楽担当

阿部博光 深井尚子 渡部謙一 フリーデリケ・キーンレ 長岡聡季

Profile

プロフィール



Denise BENDA
デニーゼ・ベンダ (ピアノ)

ブエノスアイレス生まれ。19世紀から続く音楽一家、ベンダ家の家系で、ピアニストの父セバスチャン、母ルツィアの娘である。母ルツィアからピアノの手ほどきを受け、その後、オーストリアのグラーツ音楽大学で父セバスチャンから指導を受ける。ウィーン国立音楽大学でパウル＝バドゥラ・スコダ、バーゼル音楽大学で、ルドルフ・ブフビンダー、ブリテン＝ペアーズ音楽学校で、ムレーイ・ペライア各氏に師事する。

彼女は、20カ国以上で演奏会を行っており、国際音楽祭にも多数招かれている。また、テレビやラジオ出演、また、ドイツのCDレーヴェルFONOからもCDが発売されている。

2009年から、私立ウィーン大学音楽院の教授を務め、定期的にオーストリア、スイス、クロアチア、台湾、日本、ブラジル、アルゼンチンでマスタークラスを行なった。

2012年から、ヴェルツブルク音楽大学教授として、室内楽を担当している。



Wolfgang Nüßlein
ヴォルフガング・ニュスライン (チェロ)

カールスルーエ音楽大学で、オーケストラと教育のディプロムを取得、ニューヨークのジュリアード音楽院から奨学金を得て留学。Harvey Shapiro、Paul Tortelierに師事。演奏会は、ヨーロッパ、ロシア、北アメリカ、南アメリカ、アジアの世界各国に及び、国際的に有名な音楽祭、シュレスヴィッヒホルシュタイン音楽祭、ベートーヴェンフェスティヴァルクラコフなどに招かれている。室内楽では、マンハッタン弦楽トリオ、トポストリオのメンバーで、他にもたくさんの室内楽のパートナーがいる。1995年～2007年まで、バイエリッシュ室内オーケストラの首席ソロチェリストを務める。2008年～2010年、カーセルの音楽アカデミーで、2009年からはレーゲンスブルク音楽大学で教鞭をとる。2012年からヴェルツブルク音楽大学で室内楽の専任講師を務めている。



深井 尚子
Shoko Fukai (ピアノ)

ウィーン市立音楽院修了。その後、ロンドンにも留学し研鑽を積む。ハンス・グラーフ、ヨーゼフ・ディッヒラー、ユルゲン・ウーデ、アンジェイ・エスターハージ各氏に師事。帰国後から、活発な演奏活動を開始する。東京を中心に日本各地、ドイツを中心にヨーロッパ各地で活動を続けている。昨年、2015年には、ピアニストデビュー30周年を迎え、記念リサイタルを行い、高い評価を受けた。室内楽の活動も活発で、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団、チェコフィルハーモニー管弦楽団のトップメンバーとの共演を経て、2012年、メビウストリオ東京を結成し、今年6月には、東京において第3回目の演奏会を行った。演奏活動と平行して、ベートーヴェン研究者として論文を発表し、音楽分野の学会でも研究発表を行なっている。また、音楽誌、新聞に多数の連載がある。現在は、プレス空知において連載中。北海道教育大学岩見沢校准教授。



長岡 聡季
Satoki Nagaoka (ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部付属高校、同大学を経て、同大学院室内楽科修士課程修了。大学院室内楽科博士後期課程ではシューベルトの室内楽曲研究を研究し修了、博士号(音楽)取得。2012～15年には東京藝術大学室内楽科にて非常勤講師を務めた。

室内オーケストラ横浜シフォニエッタにてシーズンメンバー及びコンサートマスターを務めるほか、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神戸市室内合奏団、群馬交響楽団にてゲスト・コンサートマスター、また東京シティーフィルハーモニック、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団など、各地のオーケストラにて客演首席奏者を務める。

2014年には、アルジェリア(アルジェ)にて室内楽公演、また台湾(台北・台中)にて2度のリサイタルを開催するなど国際的に活動している。2015年より北海道教育大学岩見沢校特任准教授を務める。

